

- 飼肥料の高い海外依存からの脱却、農地の維持・農業従事者の確保等の課題に対応し、畜産物の持続的な生産を実現するため、国産飼料の安定的な生産・供給体制の確立、粗放的管理が可能な飼料作物の導入を通じた農地の有効利用・改善等が必要
- このため、地域において、耕種農家の生産した国産飼料を畜産農家が利用し、家畜排せつ物に由来する堆肥を農地に還元する取組、すなわち「耕畜連携」を推進して、持続的な国産飼料作物の生産・利用の拡大が不可欠

耕畜連携イメージ

耕種農家側



水田作物

転換



飼料作物
(飼料用とうもろこし、牧草等)

飼料の供給

堆肥の供給



畜産農家側

輸入飼料

脱却

国産飼料
の利用

耕畜連携の推進において必要となる取組

- 飼料作物生産のために必要な農地の確保 (輪作・裏作での飼料作物の導入、畑地化後の飼料作物の本作化、耕作放棄地の活用)
- 効率的かつ安定的な飼料生産体制の構築・飼料作物の品質確保 (専用機械・人員の確保、技術の習得等)
- 生産した飼料作物の持続的な取引先(耕種農家・畜産農家・飼料製造販売業者)の確保 (長期の利用・供給契約の確保、マッチングの推進)
- 家畜排せつ物の適切な堆肥化 (堆肥の高品質化・ペレット化)
- 堆肥の有効かつ適切な利用 (施肥技術の普及)

耕種農家と畜産農家が連携して、省力的な国産飼料の生産・利用を拡大するための仕組みづくりが必要。

(主な事業)

【R5年度補正】飼料自給率向上緊急対策事業
(耕畜連携国産飼料利用拡大対策)

長期の利用供給契約に基づき、畜産農家が、飼料作物を生産した耕種農家に対し、飼料分析・給与情報を提供する取組を支援(拡大分数量払い)。

〔青刈りとうもろこし、ソルゴー、牧草:7,800円/t以内 子実用とうもろこし:12,000円/t以内〕

【飼料生産組織・耕畜連携】（広島県 株式会社vegeta）

- ・株式会社vegetaは、広島県で約130haの農地を集積して、キャベツを中心に生産している大規模農業法人。
- ・庄原市内の酪農家で構成される庄原市酪農振興協議会からの提案を受け、キャベツとの輪作作物として青刈りとうもろこしを選定し、サイレージ生産・調製を開始。地域の畜産農家との耕畜連携を推進し、地域資源循環による持続可能な中山間地農業の確立を図る。
- ・(株)vegetaを中心として、広島県酪農協、JA西日本くみあい飼料、庄原市酪農振興協議、酪農家、庄原市、広島県、雪印種苗を構成員とする「広島コーンサイレージ普及検討会」を設置し、安定的な国産飼料の供給体制を確立するため、定期的に地域の課題等を協議。
- ・青刈りとうもろこしは、地域の酪農家からの利用要望が高く、令和4年度約34haを作付け、将来的には50haまで拡大予定。

【株式会社vegeta 経営概要】

（R4年12月時点）

- ・耕作総面積 130ha以上
- ・栽培品目
キャベツ、大根、トマト、青刈りとうもろこし等

営農支援ツール（アグリノート）やドローン・自動操舵システム等を活用したスマート農業を実践し、高効率で収益力の高い農業経営を実現

青刈りトウモロコシ生産状況（R4）

- ・作付面積 34ha
- ・供給先 酪農家3戸、肉用牛農家1戸
- ・1ロール重量 400～450kg
- ・堆肥投入量 2～3t／10a
地域の酪農家の牛糞たい肥を使用
- ・所有機械

汎用型微細断飼料収穫機	1台（※）
自走式ラッピングマシン	1台（※）
バールグラブ＋ローダー	1台
マニュアルスプレッダ	2台

※畜産生産力・生産体制強化対策事業を活用して、令和4年度に導入。

